

*2023年1月改訂
(使用上の注意の改訂)

服用前にこの説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう保管してください。

のどの痛み・さむけに

パブロン50

販売名:パブロン50錠

第2類医薬品

〈かぜ薬〉

- ◆パブロン50錠は、のどの痛み・さむけなどのかぜ症状に有効な洋薬成分(アセトアミノフェン、グアヤコールスルホン酸カリウム)と、のど粘膜を潤してたんをきれやすくする働きのある生薬成分「麦門冬湯エキス」を配合したかぜ薬です。
- ◆眠くなる・口が乾く・尿が出にくくなる成分(抗ヒスタミン薬)、便秘を起こしやすい成分(ジヒドロコデインリン酸塩)、糖尿病や高血圧に影響を与える成分(*dl*-メチルエフェドリン塩酸塩、麻黄)は含みません。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

- 1 次の人は服用しないでください
(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2)本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 2 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬
- 3 服用前後は飲酒しないでください
- 4 長期連用しないでください



相談すること

- 1 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(4)次の症状のある人。
高熱
(5)次の診断を受けた人。
心臓病、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 2 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに右記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性 発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
薬剤性過敏症候群*	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする、息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

- 3 5～6回服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

効能、用法・用量、成分、保管及び取扱い上の注意については、裏面をよくご覧ください。



4 5 7 8 2

